


生薬解説 218 せー13

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意		および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
せー13	せきりゅうひ 石榴皮	酸・渋・温 肝・胃・大腸	3～9g、煎服。外用には適量。
中医生薬解説			
 <p>ザクロの果実</p>		<b>洗腸止瀉</b> 慢性の下痢や泥状～水様便あるいは脱肛に、単味を煎服するか <b>訶子</b> ・ <b>肉豆蔻</b> などと用いる。出血を伴うときは、 <b>黄連</b> ・ <b>阿膠</b> ・ <b>当帰</b> などと用いる「 <b>黄連湯</b> <千金方>」。	
		<b>殺虫</b> 回虫、条虫、蟯虫などに、 <b>檳榔子</b> ・ <b>鶴虱</b> などと用いるか、単独の散剤として服用する。 <b>その他</b> 止血、止帯にも働くので、月経過多、不正性器出血、帯下などにも用いる。	
参考		煎剤には生用し、散剤には炒用する。炒炭すると止血に働く。	
使用上の注意		湿熱積滯には早期に用いてはならない。	